

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和5 年度実施分

施設名	子育て支援センター はぐはぐ		
指定管理者名	株式会社 明日香		
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	子育てと子どもの健やかな成長を支援する場を提供し、子育ての支援と児童福祉の増進を図る		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月報 シフト表	A	業務の履行、事業計画に基づいて業務管理を行っている。 人員配置は協定に定める配置を行っている。	A	協定の管理運営業務基準に沿った管理が実施されている。 協定に定める人員の配置が確保されている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告書 月報	A	協定書を遵守し締切までに報告を行っている。	A	月報(管理業務日誌・子育て支援業務日誌)および事業報告書は期日までに提出されている。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	現地調査 点検報告書 マニュアル	A	敷地内をモニター及び目視で確認を行っている。南側玄関から事務所まで距離があるため、廊下からプレイルームへの引き戸は常時安全確保の高閉鎖している。自動ドア、消防設備については、協定に沿った点検を行っている。	A	施設内を目視および防犯カメラのモニターにより確認し、管理区域内の安全性が確保されている。 自動ドア、消防設備については、協定に沿った点検がなされている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査	A	個人情報に関する書類(利用者票、相談記録等)は必ず鍵付きの戸棚・引き出しに保存している。書類の廃棄時はシュレッダーで処理している。市に提出する報告事項は提出期限を遵守している。また、必要の際は速やかに報告を行っている。	A	個人情報を含んだ書類については、鍵のかかる書庫等に適切に保管されているとともに、廃棄の際は裁断し、適切に処分されている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	現地調査	A	管理・業務日誌は毎日作成しPC保存をしている。紙媒体でも保管している。	A	パソコンで作成し保管するとともに、紙出力して保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	緊急連絡網 緊急時対応 マニュアル	A	事故対応・災害対応のマニュアルを作成している。	A	事故発生時および災害発生時の対応マニュアルが整備されている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	事業報告書	A	月1回の利用者参加の訓練の実施と、職員への災害時の対応に関する研修を定期的に行っている。	A	毎月、避難訓練を実施している。
事業効果等	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	現地調査	A	定期的に施設内の設備点検を行い、破損、物品の紛失が確認されたら速やかに対応を行う。	A	経年劣化で修繕が必要な箇所は見受けられるが、建物や器具の破損、物品の紛失等はない。
	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業報告書	A	年間事業計画に沿って実施した。それに加え、社会福祉協議会、釜の淵新緑祭など地域の協力を得て、手品やハンドベルなど多彩なイベントを開催した。	A	年間計画に沿って事業を実施するとともに、地域の協力を得ながら様々なイベントを併せて行っていた。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	事業報告書	A	計画通りの対応を行っている。新型コロナウイルスが感染症法上5類に移行したことで、施設内での食事が再開された。安全面に配慮し、年齢別に食事時間を設定している。コロナは収束に向かいつつありますが、消毒は引き続き徹底している。	A	コロナ禍も終わり、利用者数は以前の状況に戻りつつある。未就学児と小学生の同時対応に苦慮していたが、利用場所や時間を分けるなど、状況により上手く対応している。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	アンケート実施 結果報告書	A	年2回のアンケートを実施し、利用者の意見を収集し、頂いた意見を参考にして運営を行っている。	A	アンケートを実施し、要望事項に対し検討し、対応している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	アンケート実施 結果報告書 現地調査	A	アンケート結果での満足度は高いが、常に職員の接客対応の向上の為、職員会議での話し合いや研修の実施を行っている。	S	アンケート結果は、スタッフの対応等で良好な回答を得ている。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	アンケート実施 結果報告書 現地調査	A	利用者から意見や要望に対して改善出来る事項は、速やかに対応を行っている。	A	SNSを通じた要望等に対し、適切に対応をしている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているかなど	事業報告書 月報	A	常に市及び保健所などの行政機関と連携を図り、利用者の状況に応じて、速やかに連絡、対応依頼、情報共有を行っている。	A	市および関係機関と適切に連携をしている。
会計	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	事業報告書 現地調査	A	青梅市中央図書館から司書さんの読み聞かせ、夏祭り、クリスマス会等のイベントを開催している。	A	選定時当初に計画していたとおりの事業を実施できた。
	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保管は適正にされているか。	現地調査	A	支出は毎月記帳し管理している。また書類等も鍵付きのキャビネットに保管している。	A	帳簿類は適切に整備、保存されている。
		現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	現地調査	A	施設に現金の保管は実施していない。	A	施設内では現金の管理をしていない。また、金庫の鍵は適切に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	収支報告書	A	適正に行われている。	A	適正である。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	財務諸表	A	適正に行われている。	A	適正である。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	財務諸表	A	適正に行われている。	A	適正である。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	財務諸表	A	適正に行われている。	A	適正である。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	0
A	21
B	0
C	0

記入欄

利用者数は年々着実に増加しています。初めて来館された方やベビープログラム(B.P.)の参加者には、「ようこそ はぐはぐへ」というチラシを配布し、それをきっかけに来館される方が多く見られます。また、小学生の利用も増加しており、安全確保のため「小学生の利用のしかた」を作成しました。小学生に限らず、全利用者が安全かつ安心して利用できるよう、衛生管理や運営体制の見直しを行い、新しい運営体制を導入しました。これにより職員の説明や対応が増えましたが、利用者からは「安心して利用できる」と好評を得ています。特に、乳幼児の保護者の満足度は昨年より向上し、子どもと安心して過ごせる施設として利用が増加しています。

また、小学生の利用者が増えたことで、乳幼児と小学生が同じ空間で利用するため、安全管理の重要性がこれまで以上に高まっています。事故防止に向けた効率的な巡回を実施しており、市外からの乳幼児と保護者の利用も増えているため、市外在住者への利用説明も重要になっています。職員が正確に説明できるよう、利用説明文書を作成し、朝礼や職員会議で研修と情報共有を行っています。

子育てに関する相談についても、保護者からの質問や相談が増加しており、職員全員が迅速かつ正確に対応できるよう、社内研修と情報共有を強化しています。また、明日香本社から定期的に保健師が訪問し、相談対応を行っており、保護者から高い評価を受けています。

子育てイベントでは、SDGsに基づいた新しいイベント(洋服交換会)や地域ボランティアを招いたイベント(音楽演奏など)を実施し、既存のイベントも含め、利用者から好評を得ています。今後も利用者のニーズに応じて、新たなイベントの実施を検討しています。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	1
A	20
B	0
C	0

記入欄

指定管理3年度目であり、コロナ禍が5月に終了したため、子育て支援センターの利用人数はコロナ禍前の状況に戻つつある状況だった。

また、指定管理者においては、イベントの実施にあたり、当初の計画の履行やその都度様々な工夫を凝らして開催し、来館者の増加に取り組んでいた。これらのいろいろな状況から、未就学児と小学生の同時対応が多く見られるようになり、当初は苦慮していたが、その都度、時間により場所を区切ったりすることで対応していた。

また、自主的に子育て支援センターのホームページやTwitterなどを開設し、情報発信にも努めていた。

利用者からの様々な相談にも親身に対応しており、アンケートでの信頼は厚く、今後も利用者の利便性向上のために取り組みを継続されることを期待する。